

第61回卒業証書授与式 校長式辞

立春を過ぎ、春の足音が感ぜられる今日の佳き日に、兵庫県立北条高等学校定時制課程第61回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、生徒、職員一同この上ない喜びであります。

ただ今、4名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。

このめでたい席に、平素から本校教育に深いご理解とご支援ご協力をお寄せいただいております加西市長 西村 和平 様、兵庫県高等学校定時制通信制教育振興会 会長 南光 正敬 様、兵庫県立高等学校長協会 副会長 村山 美生 様、同窓会長 小田 毅 様をはじめ、多くのご来賓の皆様、関係高等学校・中学校の校長先生方・諸先生方、さらには本校の学校評議員様 旧職員・卒業生の皆様ならびに保護者の皆様のご臨席を賜りましたことに心から厚く御礼申し上げます。

また、今日、卒業生が夢と希望を胸に、新しい旅立ちができますのも、皆様方の温かいご指導とご支援の賜と、あらためて、敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、本校のすべての課程を修了し、本日ここに、卒業証書を手に入れました。

池田 真一 君、加西市内の企業で4年間、一生懸命頑張りました。その結果今では、後輩に仕事を教える立場にまで成長しました。お世話になったこの企業で、卒業後もじっくり取り組む強い気持ちでいます。

香月 雄輝 君は、最近まで、加西市内の運送会社に精力的に勤めてきました。片道30分以上かけて雨の日も風の日も自転車で通学しました。途中でパンクした時などは、自転車を押して1時間30分もかけて登校したこともあります。ミュージシャンになる夢を持ち、四月からは大阪の専門学校に通う予定です。

小路 裕太 君は、東播磨・淡路地区生活体験発表大会の学校代表として、夏休み中も学校に来て発表のために猛練習をしました。大会当日は、堂々と、大きな声で自分の思いを発表することができました。また、生徒会長として明るく全員をまとめてくれました。四月からは地元の事業所に就職が内定しております。

玉置 亜衣子さんは、四年次、ほとんど欠席もせず、社会人となる準備を積んできました。他の生徒の欠席が続くと、大変心配していました。4人揃っての卒業を強く望んできました。自宅から通勤可能な製造業の職場を希望していますが、昨今の不景気もあり、あと一步のところ。何とか、四月から新たなスタートが切れるように頑張っています。

皆さんにとって卒業までの日々は並大抵のものではなかったと思います。苦しかった出来事や楽しかったことが走馬燈のように去来し、鮮やかに、よみがえっているのではないのでしょうか。

その一つひとつが、これからの皆さんの良き思い出として、長い人生を支え、照らしてくれることでしょうか。

今、皆さんの卒業にあたって「苟日新」を贈る言葉とします。

「苟日新」の3文字は石板に彫られ、第一体育館入り口右側の壁にはめこまれています。この「苟日新」は昭和二七年、本校相原寅松校長の求めに応じて、当時の天野貞祐文部大臣に書いていただいたものです。生徒・職員の座右の銘として、さらに校是として、校風の発展をめざして今日に至っております。

さて、「苟日新」とは中国の『大学』という古い書物の中に書かれており、今から3500年以上も前、中国で栄えた殷（いん）の国王が、湯を入れるタライ、これは石をくりぬいて作ったものですが、それに彫った文字のはじめの3文字です。その全文の読みは「まことに日に新たに、日々新たに、又日に新たなり」であり、意味は「今日の行いは昨日よりも新しくなり、明日の行いは今日よりも新しくなるように修養に心がけねばならない。」であります。現代風に言えば「一日一日を大切に、夢に向かって、努力しなければならない。」と言うことでしょうか。国王は、毎朝、体を洗うときにこれを唱え、自分を戒めていたと言うのです。

明日から皆さんの生活が変わりますが、礼節ある社会人を目指して頑張ってきた本校の卒業生であるという自信と誇りを持って旅だってください。

次に、保護者の皆様一言申し上げます。お子様には長年の努力が実り、本日、ご卒業を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。私どもは、4カ年にわたり、大切なお子様をお預かりしてまいりましたが、微力さゆえに、至らぬ点や、ご期待に添えない面も多々あったことと存じます。

しかし、私どもは今日まで、全職員で生徒たちの教育に取り組んで参りました。

また、この間、学校の教育方針をご理解いただき、本校発展のためにご協力を賜りましたことを、この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。本当に有り難うございました。

最後になりましたが、ご来賓の皆様、本日は、ご多忙の中、ご臨席を賜り、誠に有り難うございました。

どうか、今日、ここに卒業していきます前途有望な若者たちをこれからも温かく見守り、励ましていただきますようお願い申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん、名残は尽きませんが、皆さんの洋々たる前途を祝し、ご多幸をお祈りし、大いなる活躍を心から願って式辞といたします。

平成24年2月25日

兵庫県立北条高等学校長

西 幹 博

